



令和2年度生徒指導だより

梨の花

～心のふるさと下貝塚中学校～

市川市立下貝塚中学校
発行者：生活指導部
令和2年12月9日
第8号

今年の振り返りをきちんと行いましょう！

さあ、長かった2学期も、いよいよ今月で終わります。個々の役割や仕事をこなしていく力が、学級や学校での充実感や達成感を味わうことが出来たと思います。

12月（師走）の声を聞いてからは、あっ、という間に時間が過ぎていきます。2学期を振り返り、3学期へのスタートが良い形で取り組めるようにしましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

これまでの感染拡大の経験から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。一方で、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的と考えられます。新型コロナウイルス感染症の伝播は、主に「クラスター」を介して拡大することが分かっています。これまでのクラスター分析で得られた知見から、

- ・感染リスクが高まる「5つの場面」
- ・感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

が新型コロナウイルス感染症対策分科会により提言としてまとめられました。

親子で確認しましょう！

場面1 飲食を伴う懇親会等

- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、箸などの共用が感染のリスク

場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面3 マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

場面4 狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面5 居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

寒い環境でも換気の実施

適度な保湿（40%以上を目安）

《冬季休業中、特に気を配ってほしい項目》

- ① 学業・進路に関すること。（弱点教科の克服。進路先の資料収集など）
- ② 自律的な生活・マナーに関すること。（言葉遣い、礼儀・挨拶など）
- ③ 生命尊重に関すること。（いじめや暴力は絶対に許さない。自殺予防など）
- ④ 交通安全に関すること。（交通ルールの厳守。自転車の乗り方マナーなど）
- ⑤ 健康増進・体力向上に関すること。（規則正しい生活。インフルエンザ・コロナウイルス対策）
- ⑥ 部活動、对外競技、行事に関すること。（練習計画の日程を確認する）



学校から離れることにより、毎日顔を合わせなくなったことで、気軽に情報や様子を知るツールとして、よく使われるのが『スマートフォン（携帯電話）』です。その使い方による弊害についても、何度となく触れてきました。ネットパトロールの強化月間でもある12月・1月は、個人情報の流出や他人への誹謗中傷などを含め、SNS全般に対して、中高生の間でやり取りされる内容を青少年ネット被害防止対策事業という名目で実施されます。お互いが嫌な気持ちにならないようにしましょう。

～かけがえのない命を大切に～（この世に生を受けた命は、生きるためのものです）

命はかけがえのないもの、たったひとつしかないものです。そして、その命は、君一人だけのものではなく、君を大切に守っていききたいという家族・周りの人たちのものでもあります。一人一人が、大切な命、尊い命を守っていきこう。（自殺予防強化月間⇒休み明けの体調管理を）

～いじめや嫌がらせをされて、悩んでいる君へ～（辛い、悲しい、を乗り越える力を持とう）

『誰にも言えない』『心配をかけたくない』などと、たった一人で、苦しみを心の中に閉じ込めていませんか？どうか、君自身の苦しみを軽くするためにも、誰かに相談して下さい。一緒に真剣に考えてくれる人が、必ずそばにいます。家族・先生・友達に勇気をもって打ち明けて下さい。『いじめは絶対に許されない行為』です。一人で解決することはなかなか難しいのですが、そのままの状態にしてはいけません。（テレフォン相談などの有効的な活用も考えてみよう）

～いじめたことのある君・今いじめている君へ～（人を傷つけて得るものは何もない！）

自分では、ちょっとからかったつもり、軽い気持ちであったとしても、相手をとて辛い気持ちにさせたり、悲しませたりすることがあります。自分が同じことを言われたり、されたりしたら嫌だな…、と思うことは、相手に対してもしてはいけません。一度、心につけてしまった傷は、簡単には消えません。今までいじめたことのある人は、自分を責めるよりも、これからは、いじめを絶対にやらないと決心しよう。『今、いじめている人は、すぐにやめて下さい！』

～家庭・地域・学校の大人たちへ～（だれの責任でもない、大人の役割を果たしましょう）

我が子や近所の子のちょっとした変化も心にとめながら、見守ってください。表情がくもっていたり、元気がなかったり、体調に変化が見られた時は努めて話しかけてみて下さい。子ども達の、大切な命をしっかりと守っていきましょう。（顔見知りの子達を気にかけて！）

～防犯情報～

現在、市川警察署管内で「還付金がある」などの電話de詐欺と思われる不審電話が多発しています。市内全域で不審電話が飛び交っており、非常に危険な状況です。在宅中でもご自宅の固定電話機を必ず留守番電話に設定し、不審電話に備えましょう。市川市内にご家族、ご友人、お知り合いなどがいる方はお互いに注意を呼びかけあいましょう。

～こころ温まるお知らせ～

- ・11月に道に迷っていた80歳代の女性を家のそばまで送り届けた生徒がいたそうです。「ありがとうございました。」と感謝の連絡がありました。
 - ・落とし物を交番へ届けてくれた生徒がいたそうです。「ありがとうございました。」と感謝の連絡がありました。
 - ・校内において、落とし物を届けてくれた生徒がいました。「ありがとうございました。」
- ※校内における落とし物は、職員室前の落とし物ボックスに置いてあります。定期的に確認しましょう。